小人症の原因疾患

１．諸臓器の疾患
　1）慢性炎症性消化器疾患（吸収障害）
　2）慢性腎不全＊
　3）慢性心不全
２．環境異常　：　被虐待児（愛情遮断）症候群
３．骨疾患
　1）軟骨無（低）形成症（軟骨異栄養症）＊
　2）クル病
　3）脊椎疾患
４．代謝障害（治療管理が悪い場合）：先天性代謝疾患
５．染色体異常
　1）ダウン症
　2）ターナー症候群＊
　3）プラダーウイリー症候群＊
６．内分泌障害
　1）甲状腺機能低下症
　　先天性（クレチン症）、後天性（橋本病）
　2）成長ホルモン分泌不全性低身長症＊
　　特発性、器質性（脳腫瘍など）
　3）思春期早発症（性早熟症）
　4）クッシング症候群（含：副腎ステロイド投与）
　5）偽性副甲状腺機能低下症
７．体質性小人症（思春期遅発症、“おくて”）
８．原発性小人症
　家族性（遺伝性）、散発性、未熟児（子宮内発育不全）
　SGA低身長症（基準を満たす未熟児）　＊

（＊ 2020年 現在、成長ホルモン治療が保険で承認されている）